

- 問1 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 根釧平地 2. 上川盆地 3. 十勝平野 4. 石狩平野
- 問2 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 高齢者の割合が全国で最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため 2. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため 3. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため 4. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
- 問3 北海道北部の利尻島・礼文島において、地域の産業を持続させるために行われている取り組みの背景と内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 観光客の減少を食い止めるため、閉山した金山の坑道を再活用したテーマパークの建設が進んでいる。 2. 土壌の性質を改善することで、生産額が減少したサトウキビに代わる新たな特産品の開発が進んでいる。 3. 昆布の需要減少に対応するため、漁場をすべてレタスなどの大規模な野菜工場に転換する計画が進んでいる。 4. 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。
- 問4 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 海洋性気候 2. 内陸性気候 3. 瀬戸内の気候 4. 南西諸島の気候
- 問5 北海道最大の稲作地帯である石狩平野について、農業開発の歴史的な背景や工夫を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 水分を多く含む農業に不向きな泥炭地を改良するため、他から土を運び入れる客土が行われた。 2. 冷害を避けるため、石狩川の水を大規模な温水ため池で温めてから田に引く工夫がなされた。 3. 火山灰地で水はけが良すぎるため、粘土質の土を混ぜて保水力を高める工事を全域で行った。 4. 浅い海や湖を堤防で囲んで排水し、広大な干拓地を造成することで米の生産量を増やした。
- 問6 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適当な記述を選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。 2. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。 3. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。 4. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
- 問7 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。 2. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。 3. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。 4. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。
- 問8 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。 2. 地吹雪による視界不良を防ぐため、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。 3. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。 4. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。
- 問9 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。 2. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。 3. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。 4. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。
- 問10 北海道の太平洋側において、夏に濃霧が発生し、気温が相対的に低くなる主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 南西からの寒流の上空を乾燥した冬の偏西風が吹き抜けるため 2. 北東からの暖流の上空を湿った夏の偏西風が吹き抜けるため 3. 北東からの寒流の上空を湿った夏の季節風が吹き抜けるため 4. 南西からの暖流の上空を乾燥した冬の季節風が吹き抜けるため
- 問11 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 3. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 4. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。
- 問12 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い 2. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る 3. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である 4. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 根釧台地	釧路と根室の間に広がるこの地域は、火山灰土が分布していることや、夏の気温が上がりにくい気候特性から、耕作よりも家畜の飼料となる牧草の生育に適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野は畑作、石狩平野や上川盆地は稲作が盛んな地域であり、それぞれ農業の特色が異なります。
問2	答え 4 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため	北海道の農業は、全国平均の約14倍という広大な耕地面積を誇りますが、従事者の高齢化と減少が進行しています。広すぎる土地を限られた人数で管理しなければならないという北海道特有の状況が、自動運転やロボットによる「省力化（労働力を節約すること）」を強く必要とさせており、スマート農業の普及を後押ししています。
問3	答え 4 高齢化による労働力不足を補うため、昆布養殖や漁業の技術を伝える後継者の育成・支援が行われている。	利尻・礼文の両島では、高品質な昆布養殖や漁業が主要な産業ですが、全国の離島と同様に人口減少と高齢化が深刻な課題となっています。そのため、地域の伝統的な生業と「利尻昆布」のブランドを守ることを目的として、移住者の受け入れや若手漁業者の技術習得をサポートする後継者育成支援に力が入れています。地理的条件や自然環境を活かした産業構造を維持するための重要な施策です。
問4	答え 2 内陸性気候	北海道の中央部は海から離れているため、比熱の小さい陸地の影響を強く受けます。水に比べて陸地は温まりやすく冷めやすいため、夏は気温が上がりがやすく、冬は極めて寒冷になる内陸特有の気候が形成されます。冬には氷点下まで気温が下がり、積雪も見られるのが大きな特徴です。
問5	答え 1 水分を多く含み農業に不向きな泥炭地を改良するため、他から土を運び入れる客土が行われた。	石狩平野の大部分は、寒冷な気候により植物の分解が進まずに積み重なった「泥炭地」でした。この土地は米作りに必要な温度を保ちにくく、また地盤も軟弱でしたが、明治時代以降、他の土地から質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった大規模な土地改良が続けられました。この努力に加え、寒さに強い品種改良が進んだことで、北海道は日本有数の米どころとなりました。火山灰地の改良（客土）は主に十勝平野などで見られる特徴です。
問6	答え 2 ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。	ニセコ町では、12月から3月という冬の時期に外国人宿泊者数が突出して多くなっています。これは良質な雪を求めて訪れるスキー客などの影響であり、それに伴って飲食業や宿泊業の就業者割合が最も高い水準となっています。
問7	答え 4 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。	札幌市は石狩平野に位置する北海道の道庁所在地であり、人口190万人を超える政令指定都市です。北海道の行政や経済の中核機能を持ち、毎年冬に大通公園などを会場として行われる「さっぽろ雪まつり」は、国内外から多くの観光客を集める一大イベントとなっています。
問8	答え 1 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。	積雪寒冷地における交通の安全を確保するための工夫を問う問題です。地面に設置する通常の反射板や白線だけでは、深い積雪や激しい吹雪（地吹雪）の際に視認できなくなります。固定式の標識を高い位置から吊るすように設置することで、雪の影響を受けずに「ここから先は路肩である」という情報を運転者に提供しています。
問9	答え 4 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	北海道は地理的に緯度が高く、本州以南に長雨をもたらす梅雨前線（停滞前線）が北上してくる頃には勢力が弱まったり、消滅したりすることが多いため、明確な「梅雨」が存在しません。これは北海道の大きな気候の特色の一つであり、この時期の降水量が本州に比べて少ないことは、観光や農業における利点となることもあります。
問10	答え 3 北東からの寒流の上空を湿った夏の季節風が吹き抜けるため	北海道の太平洋側では、夏に北東から流れる寒流（親潮）の上を冷やされた湿った季節風が吹いてくるため、気温が上がりにくく濃霧が発生しやすくなります。
問11	答え 2 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問12	答え 1 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い	北海道の農業は「広大な農地」という特徴を持っていますが、統計で見ると耕地面積の全国シェア（約25%）に対し、農業産出額の全国シェア（約13.5%）はそれより低くなっています。これは、北海道が広大な土地を必要とする酪農や、大規模な機械化による畑作を主体としているためです。土地を効率的に使うことよりも、一戸あたりの生産量を増やす大規模経営に特化していることが、この数値の差に現れています。